

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年11月5日
派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(3日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	加西市	代表者名	西村 和平
担当者部署	総務部	連絡先電話番号	0790-42-8703
担当者役職	係長	担当者氏名	馬渡 隆行
住所	675-2395 兵庫県加西市北条町横尾1000番地		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名	連絡先部署	連絡先電話番号	連絡先E-mail
担当者氏名			

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	山形 巧哉
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	DXの必要性をわかりやすく職員に講演していただけたことが非常に良かった。アンケートからも自分事としてとらえてもらった職員が出てきたことがわかった。
アドバイザーへの要望事項	必要性を理解しつつ、その意識を継続して持ち続けることが大事であるため、後戻りしているようなことがあれば指摘・助言をしていただきたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年10月20日	14時40分	16時40分		120
	派遣形態	講演(オンライン)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	80人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	庁内のDX推進に関して、チーム結成、計画やビジョンの策定および提示をして一気に進めようとしているが、そもそもデジタル化を進めていく、今の業務の進め方などを変えていく必要性を肌で理解していない職員が多数いると想定している。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	多くの職員がDXを自分事としてとらえ、各自で業務改善に足を踏み出せるようにしていきたい。さらには部署間で横串を通すことで、全庁的な流れを作っていく。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	職員向けの講演会を開催し、DXの必要性をかみ砕いてわかりやすく説明していただいた。世の中の標準に合わせてデジタル化を進めていくこと、職員間など対話が重要であるということなど。対象の職員数は会場11名、オンライン24名、録画視聴45名。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	職員がDX推進の必要性を理解したこと。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	加西市DX推進計画を策定中であり、アドバイザーの支援を受けながら年内に完成予定。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 講演会を受講した職員はDX推進の必要性を理解した。自由記述でも必要性を強く感じた職員が散見された。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	加西市DX推進計画を策定し、DXを着実に進めていく。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

